

## 第 1 回長久手市土地利用計画審議会の結果について

		ご意見	
1	検討方法について	(1)	土地利用構想図については、事業が遅れているだけであれば現行計画を踏襲していけばよいが、時間の経過とともに事情が変わってきたということであれば見直しが必要となる。踏襲か見直しかを分けて考えた方がよい。
		(2)	災害リスクについては検討する必要はないか。(推定活断層、亜炭鉱跡を含む) 次回にハザードマップを示してもらいたい。(資料 2 を参照)
2	今後の土地利用の考え方について	(1)	低未利用地において、多様な世代が暮らしやすい住環境の形成と緑豊かな住環境の形成を組み合わせることは興味深い。
		(2)	今後イケアやジブリパークができることで、環境の変化が住環境にどのように影響するかを考えることが必要。
		(3)	既成市街地では土地区画整理事業の実施時期によって状況が異なる。各地区の状況を詳細に見ることが必要。
		(4)	自然環境を保全するエリアにすることで、環境を守りながら、様々な人に来てもらう視点も必要。
		(5)	人口フレームは住宅地との整合は図られているのか。人口増加分の受け皿はしっかりつくっておくことが必要。
		(6)	市役所の再整備やスポーツターミナルの立地の検討について、実施するとなれば土地利用計画に位置けることが必要。
3	検討の視点について	①都市として持続的に発展が可能な土地利用という視点 ②集約型都市構造をどのように考えるか。 ③市東部の緑の保全・活用・創出 これらを踏まえて、土地利用計画策定の検討を進める。	